がんばろう
末崎！
津波なんかに
負けない！

館報まっさき

第２９６号
令和元年７月２２日
大船渡市立
末崎地区公民館
電話（F 兼）29-2955

サロン勉強会開催

末崎地区助け合い協議会は、6月24日、ふるさとセンターにおいて、各地域公民館より館長、婦人部または健康づくり推進員の皆さんを対象に、高齢者が地域において元気に、かつ安心して暮らせるよう、住民と交流しながら、より良い人間関係を築いていく「サロン」の開催と運営について、大船渡市社会福祉協議会生活福祉課係長伊藤勉氏を講師に招き勉強会を開催した。

同氏は、はじめにサロンは「気軽に・無理なく・楽しく実践」をモットーにすべきと話された。サロンとは、身近な地域の人たちが集い、一緒に楽しい時間を過ごす気軽な「たまり場」のことだ。大船渡市内には、80を超えるサロンがあり、様々な場所で月1回のペースで開催されている。もともと高齢者を対象に広がったサロンだが、対象を決めない複合型のサロンへと広がりを見せている。

それでは、サロンはどういう役割を担っているのか。その効果と運営上のポイントについて、次のように列挙した。

1．サロンの効果は、主につぎの3点である。

⑴高齢者の健康づくり（認知症予防、体力減退予防、ストレス解消等）、生きがいづくり（好きな裁縫や絵手紙などの趣味や料理を作って皆に喜んでもらえる等）

⑵地域のつながり再構築（地域の人々と交流することによって人間関係がよりよくなる）

⑶安否確認の場（近所の困っている人の見守りになる）

2．サロン開催の流れと運営上のポイント

⑴仲間集め
参加者は役職にこだわらないこと。世話焼きさんがいると良い。口コミでサロン開催を伝える。

⑵対象者の設定
地域のニーズによる。高齢者だけでなく、子供たちに声をかけるときは、夏・冬休みに。

⑶会場探し
歩いて集まれる所が望ましい。継続して実施できる所が望ましい。

⑷活動内容を決める
とにかく楽しめればいい。楽しむこと。メニューにこだわりすぎない。毎回変えない。

⑸開催回数
月1回だと待っている状態。毎週だと開催する側が負担になる。初めから無理な設定はしない。

⑹活動費の確保
接待型にならないように1回につき100円程度出してもらう方がよい。自分で作ったものを持ち寄る方がよい。また、色々な機関からの支援もあるので相談してほしい。

⑺参加者の募集
チラシや回覧板もあるが、口コミがよい。知っている人から誘われると参加率が高くなる。

など、具体的事例をあげながら、わかりやすく説明された。

最後に、各地域とも開催しながら、その地域にあったサロンにしていけばいい。人は集めることはできるが、どう進めればいいか等、心配なときは、社会福祉協議会の生活支援相談員がお手伝いしますので遠慮なく声をかけてくださいとのことでした。

実に有意義な勉強会になった。早々に各地域においてサロンが開催されることを期待したい。

末崎町の石碑・祠・神社(24)

観音様について　～　その1

(1)　観音様とは

観音様とは、一般的には聖観音菩薩(しょうかんのん・せいかんのん)のことを言いますが、広くは、千手観音菩薩、十一面観音菩薩等の七観音の外に 33 の姿があると言われる観音菩薩全部をさすこともあります。そして菩薩とは、上に向っては自らの悟りを求め、下に向っては生きとし生けるものを導く(上求菩提・下化衆生―じょうぐぼだい・げけしゅじょう)ために修行に励んでいるのが菩薩様です。また、現世の苦しみを救うのも菩薩様です。既にすべての悟りを得た如来様の次の位が菩薩様です。

聖観音菩薩のことを、観音菩薩・観世音菩薩・観自在菩薩ともいいます。

(2)　33 観音とは

観音様の像容は、33 あると言われています。観音様を観世音菩薩ともいいますが、これは人々を救うために常に「世の音を観じ」苦しみや悩みを察知し、その人のために一番役に立つ姿・形で目の前に現れたのが 33 観音です。

33 札所めぐりという言葉をよく聞く事があると思いますが、全国的に有名なのは、西国 33 観音・坂東 33 観音・秩父 34 観音です。狭い地域にもそれぞれありますが、この地域では奥州 33 観音、気仙 33 観音です。ただし、「33 札所めぐり」は、33 の姿の観音様をめぐるのではなく、ほとんどが七観音を中心とした観音様を 33 箇所めぐるということのようです。

東日本大震災後は、亡くなった人々の慰霊のため 33 札所めぐりが多くなったと聞いています。(紀)

えさし郷土文化館に展示されている、元稲子沢家の聖観音坐像

学校統合の今

大船渡中学校と末崎中学校の学校統合の進捗状況について、ご報告いたします。

第1回学校統合推進協議会

令和元年度第1回大船渡・末崎地区学校統合推進協議会は6月7日、大船渡市防災観光交流センターにおいて開催された。これまでは、学校統合合同協議会としてきた。今年度からは、統合をよりはやく前に進めようということで、学校統合推進協議会とした。初会合である。それぞれの学校で PTA 役員が改選されたことから、委員も新しい顔ぶれになった。また、これまでオブザーバーとして参加していた校長が委員となった。

統合を着実に前に進めるために、推進協議会へ提出する事項の原案づくりなどの作業部会となる、総務部会を設置し、各地区5名ずつの計10名の委員を選んだ。

つぎに、校名、校歌、校章について、生徒、保護者の意向を把握するためアンケート調査を実施することとした。ただし、アンケート結果の多さによりその方向性を決定するものではなく、参考資料とすることで了承。対象は小学校5・6年生とその保護者。中学生は1年から3年までの全生徒とその保護者とした。

アンケートの内容については、総務部会で検討することとした。

第2回学校統合推進協議会

令和元年度第2回大船渡・末崎地区学校統合推進協議会が7月16日、大船渡市防災観光交流センターにおいて開催された。

協議内容は校名、校歌、校章に関するアンケート調査についてである。総務部会よりアンケート調査の具体的内容が示された。原案のとおり了承される。児童・生徒は学校で回答。保護者は、家庭で回答し、児童・生徒を通じて学校に届けることとし、夏休み前に実施することとした。

★令和元年度　末崎町内地域対抗野球大会

主催　末崎体育協会
共主催　末崎地区公民館
管理　末崎体育協会野球部

期日
8月14日（水）開会式
大船渡市営球場
午前8時30分開始予定
1回戦から2回戦
※雨天順延
8月15日（木）3回戦以降決勝まで
8月16日（金）予備日

場所　大船渡市営球場・末崎中学校校庭

選手制限
①50才以上の選手が常時2名以上出場していること
②投手は35才以上の人に限る
③20才未満の出場は常時2名以内とする。ただし、試合直前まで人数が集まらない場合は、対抗チームの承諾を得た場合に限り3名を上限に出場を認める
④選手は、末崎町内在住者又は末崎町出身者であること

表彰
①優勝チームには優勝杯を授与する
②1位～3位までは賞状を授与する

★「パソコン・スマホ相談」

日時　8月10日（土）13時～16時
場所　ふるさとセンター2階会議室

パソコン・スマホ操作でお困りの方、さらにレベルアップを図りたい方、どうぞおいで下さい。

★「草月流生け花」教室

＊8月はお休みと致します。